



令和7年度小児医学研究振興財団フェローシップ・アワード表彰式(第128回日本小児科学会学術集会会期中、ポートメッセなごやにて)

令和6年度 研究助成事業・海外留学フェローシップ・優秀論文アワード選考結果
令和6年度 海外留学フェローシップ・優秀論文アワード 受賞感想

特別寄稿

「全ての子どもたちが笑顔で未来を描ける社会へ」



日本小児科学会会長
滝田 順子

令和6年4月に日本小児科学会の会長を拝命いたしました京都大学の滝田順子です。本学会は1896年に発足し、約130年の歴史を有する伝統ある学会です。その中で初の女性会長として、この重責を担うことに身の引き締まる思いです。伝統と進取の気風を育ててこられた偉大な先輩方に、心より敬意と感謝を申し上げます。

本学会の使命は、小児科学の発展とともに、全ての子どもたちの健康と福祉、人権の向上をめざすことにあります。しかし今、子どもたちを取り巻く環境は深刻です。出生数の過去最低更新、いじめや虐待、自殺の増加——子どもたちの「いのち」と「こころ」が脅かされています。一方で、こども家庭庁の発足や、1か月・5歳児健診への支援事業の開始といった取り組みに、社会全体が「こども真ん中」へと舵を切り始めていることも確かです。こうした動きを追い風に、私たち小児科医は、子どもたちの命と成長を守る最前線に立ち続けなければなりません。加えて、小児医療の現場では、難病や医療的ケア児の増加、薬剤供給不安や診療報酬制度の課題が顕在化しています。また、専門医制度改革や医師の働き方改革、研究力の低下も大きな課題です。中でも女性医師の比率が高い小児科において、次世

代の人材確保と育成が急務となっています。一方、国際情勢に目を向けますと、武力紛争に巻き込まれ、犠牲となる子どもたちの痛ましい報道が後を絶ちません。全ての子どもの健康と安全を守ることを使命とする本学会としては、2023年に引き続き、昨年9月に「乳児・こどもの安全と福祉に関する声明」を発出いたしました。一度、お目通しいただけますと幸いです。

全ての子どもたちが笑顔で未来を描ける社会へ、そして次世代の小児科医に夢と誇りを手渡せるよう、全力を尽くしてまいります。引き続き、皆さまのご支援をお願い申し上げます。

令和
6年度

研究助成事業・海外留学フェロシップ 優秀論文アワード 選考結果

1. 研究助成金

(1) 小児科領域全般研究事業

坂本 謙一	信州大学医学部附属病院小児科・助教	EBウイルス関連血球貪食性リンパ組織球症に対するEBV-DNA定量を用いた新規リスク層別化因子の検討
北野 泰斗	奈良県総合医療センター小児科・医長	県内全出生児に対する先天性サイトメガロウイルス感染症の低コストユニバーサルスクリーニングについての実施検証
永井 礼子	北海道大学病院小児科・特任助教	PTGIS遺伝子異常を基盤とした、中小動脈疾患の発症機序の解明
渡邊 潤	新潟大学脳研究所脳神経外科・非常勤講師	腸内微生物による宿主感染制御機構の解明

(2) 妊産婦・乳幼児・小児の栄養に関する研究助成金(アサヒグループ食品研究助成金)

原 香織	慶應義塾大学医学部小児科・助教(育児支援)	生後早期からのビタミンD週1回投与が乳児のVD充足状態に与える影響の解明
池田 奈帆	順天堂大学医学部小児科・助教	母乳中のオキシリピンが早産児の腸内細菌叢に与える影響

(3) 小児の社会医学的研究助成金(疫学・統計含む)

濱谷 沙世	福井大学子どものこころの発達研究センター 情動認知発達研究部門・助教	ADHDモニタリングに関する新尺度「SNABB」の開発: 多施設共同ランダム化比較試験への応用
石田 秀和	大阪大学大学院医学系研究科小児科・講師	小児心臓移植後患者の社会復帰に関する調査研究
鈴木 孝典	藤田医科大学小児科・特別研究員	リアルワールドデータベースを利用した川崎病による冠動脈瘤患者に対する血管内治療とバイパス手術の効果検証

(4) 海外留学フェロシップ(小児医学全般)

大瀬戸恒志	東北大学大学院医学系研究科分子疫学分野・ 博士課程大学院生	ゲノム情報と家系情報から明らかにする 家族の健康の子の健康への影響
野口 和寛	フィラデルフィア小児病院 ポストドクトルフェロシップ	標的的特異的脂質ナノ粒子を用いた先天性赤血球異常症に対する 生体内造血幹細胞遺伝子治療の開発
白木 杏奈	名古屋大学医学部附属病院小児科 医員	早産児における睡眠状態と機能的脳ネットワークとの関連の解明

(5) 国内外留学フェロシップ(子どもの心の問題)

荒井 勇人	鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科・助教	小児てんかん患者に対する家族中心ケア (Family-Centered-Care)の確立
-------	----------------------	---

2. 優秀論文アワード

小児医学研究振興財団アワード和文誌

村田 陽	東京都立小児総合医療センター 感染症科・免疫科	HPVワクチンに対する中学生の意識および学校教育を活用した 情報提供の有用性 日本小児科学会雑誌 第128巻 第11号
------	----------------------------	---

小児医学研究振興財団アワード欧文誌(Pediatrics International)

桑名 翔大	仙台赤十字病院 新生児科	Reduced number of alveoli after birth in rats exposed to iron in utero Pediatrics International Volume 66, Issue 1
-------	--------------	--

福山・加我アワード

奥村安寿子	広島大学大学院人間社会科学研究科 日本語教育学プログラム	ひらがな読み検査に基づく読字困難の過剰判定と検査基準値の検証 脳と発達2024; 56: 420-426
下里明日香	名古屋市立大学病院	1994年から2021年における自閉スペクトラム症児の当院心理・発達外来 受診状況の推移 小児の精神と神経63(4): 361-367

令和
6年度

海外留学フェローシップ・ 優秀論文アワード 受賞感想



海外留学フェローシップ(小児医学全般)

大瀬戸 恒志 東北大学大学院医学系研究科 分子疫学分野 博士課程

この度はご採択いただき、心より感謝申し上げます。本研究では、フローニンゲン大学のLifelinesと東北大学のToMMoが保有する、世界的にも貴重な多世代家族データを統合解析し、家族全体の健康度(Familial Health)の小児の健康への影響を評価します。国際共同研究を通じて、小児の健康形成における家族の役割を解明し、小児医学のさらなる発展に寄与してまいります。



海外留学フェローシップ(小児医学全般)

野口 和寛 フィラデルフィア小児病院 ポストドクトルフェローシップ

この度は海外留学フェローシップを贈呈下さり誠にありがとうございます。私は血液疾患に対する遺伝子治療研究を行って参りました。造血幹細胞遺伝子治療はウイルスベクターを用いた生体外治療が一般的ですが、より合併症の少ない生体内での造血幹細胞遺伝子治療を研究するために渡米しました。私たち家族にとって本助成金は大変支えになります。心より厚く御礼申し上げます。御期待に添えるよう一生懸命研究し、造血幹細胞遺伝子治療の発展に献身致します。



海外留学フェローシップ(小児医学全般)

白木 杏奈 国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学医学部附属病院小児科

このたびは本フェローシップを拝受し、大変光栄に存じます。留学先のジュネーブ大学では、初めて取り組む早産児の機能的MRI解析を通じて、脳ネットワークの発達や変容の解明に努めます。異国での新たなプロジェクトの遂行には、予想を超える困難を伴うことが想定されますが、これまでご指導賜りました先生方から学んだ知識と教訓を最大限に活かして頑張ります。国際的な視野を広げながら、子どもたちの未来に貢献できる成果を目指し、全力で取り組みます。



国内外留学フェローシップ(子どもの心の問題)

荒井 勇人 鳥取大学医学部附属病院 脳神経小児科

このたび、小児医学研究振興財団のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。てんかんの子どもとその家族は、予測不能な発作への不安に加え、学校や社会において不当な扱いを受けることがあります。そのため、患者さんとその家族の生活に寄り添いながら医療者が支援を提供することが重要であると考えております。私は、NICU領域で発展した「家族中心ケア」を小児てんかんの分野にも応用し、てんかんと診断された子どもとその家族を包括的に支援する基盤を構築することを目的に、ドイツでの研究に取り組む所存です。



小児医学研究振興財団アワード和文誌

村田 陽 東京都立小児総合医療センター 感染症科・免疫科

このたびは素晴らしい賞を賜り心より感謝申し上げます。HPVワクチンの低接種率は本邦の公衆衛生上の大きな課題です。私たちの研究は、現在の中学生のHPVワクチンの知識が乏しく、学校教育を活用した情報提供が中学生の知識の向上および意識変容に有効であることを明らかにしました。健康に関して十分な情報提供をすることは子ども達が自分の健康を自分で考える点でとても重要だと思います。今回の受賞がHPVワクチン接種率改善の一助となり子ども達の将来の健康を守ることに繋がれば幸いです。



小児医学研究振興財団アワード欧文誌(Pediatrics International)

桑名 翔大 仙台赤十字病院 新生児科

この度は素晴らしい賞を賜り、大変光栄です。本研究は、ラットを用いたびまん性絨毛膜羊膜へモジデロースの子宮内モデル作成と、新生児慢性肺疾患の病態生理に迫ることを通して、より良い新生児管理と子どもたちの未来につながることを期待します。ご指導いただいた埴田卓志先生、渡邊真平先生、佐藤信一先生、ご協力いただいた共同著者の先生方に御礼申し上げます。今後もリサーチマインドを持ちながら日々の診療、研究に精進してまいります。



福山・加我アワード

奥村 安寿子 広島大学大学院人間社会科学系研究科 日本語教育学プログラム

この度の受賞に、著者一同を代表して深く御礼申し上げます。臨床現場でも見逃されがちな学習障害という領域に目を向けてくださったことを、大変嬉しく感じております。今後も引き続き、学習障害の患者さんやご家族に少しでも貢献できるような研究を、多くの皆さまのご指導のもとに進めていきたいと考えております。最後に、私たちの研究を長年にわたり支えてくださっている関係者の皆さまと子どもたちに、心より感謝を申し上げます。



福山・加我アワード

下里 明日香 名古屋市立大学病院

この度は、素晴らしい賞をいただき誠に光栄に存じます。論文作成並びに日々の診療におきましてご指導、ご協力いただきました共同著者の先生方に心より感謝申し上げます。発達障害に関する知識が普及したことにより、発達障害診療も時代と共に変化しており、発達外来の需要も年々高まっております。日々変化する患者のニーズに応えるべく、今後も精進してまいります。



研究助成金

- ① 小児医学領域全般に関する研究費助成 (Research Grants for Pediatrics) 総額 700万円 1件200万円以内
- ② 妊産婦・乳幼児・小児の栄養に関する研究(アサヒグループ食品研究助成金) 総額 100万円 2件程度
- ③ 小児の社会医学的研究(疫学・統計含む) (Research Grants for Social Pediatrics) 総額 100万円 1件100万円以内

研究を目的とした留学に対する助成

小児医学領域全般に関する海外留学奨学金 総額 250万円

優秀論文アワード (機関誌に掲載された原著論文のうち、優秀論文の筆頭著者を褒賞)

小児医学研究振興財団アワード<和文誌><欧文誌> 日本小児科学会
 福山・加我アワード 日本小児神経学会

賛助会員(個人)

※敬称略 五十音順

相原 雄幸 相部美由紀 赤坂真奈美 赤司俊二 旭 壮一郎 芦田 明 安次 馨 東 寛 足立 雄一 熱田 裕 鮎沢 衛 新垣 義夫 荒川 浩一 有賀 正 飯島 一誠 家原 知子 五十嵐 隆 池田 裕一 石井アケミ 石井尚吾 石井正浩 石倉健司 石崎朝世 石崎優子 井田孔明 位田忍 井田博幸 市田露子 伊藤悦朗 伊藤秀一 伊藤末志 伊藤進 伊藤辰夫 伊藤保彦 稲垣治 稲垣由子 井上和彦 井上哲志 井原健二 今井千速 今井益栄 今村孝彦 岩田敏力	岩元 二郎 内田 正志 内田 祐子 内原 真樹 漆原 真彦 江口真理子 江口真理子 衛藤 隆 衛藤 義勝 遠藤 文夫 小穴 慎二 老田 礼子 尾内 一信 大賀 正一 大久保美登里 大澤真木子 大嶋 勇成 太田 和秀 太田 孝信 大友 正純 大野 耕策 大守 伊織 岡田 明賢 岡田 純一 岡田 勤賢 緒方 俊一 小川 潤一 小口 学 奥山真紀子 小栗 絢子 小坂 仁慈 小田切美知子 小野 靖彦 賀川 治美 河西 紀昭 加治部 康弘 加藤 剛二 加藤 達夫 加藤 均誠 加藤 正彦	加藤 元博 加藤 陽子 加藤 弘一 加藤 一成 加納 芳郎 鎌田 文顕 鴨下 和子 河川 浩史 川又 はるみ 神崎 晋 菊池 敦生 貴田 節子 北本 育子 木野 稔 木村 宏章 金 太章 日下 隆聡 楠田 浩一 楠原 浩志 工藤 政勝 窪田 満 倉辻 忠俊 呉 繁夫 桑原 尚志 郡 建男 小池 健一 小泉 晶一 小泉 ひろみ 河野 幸治 河野 陽一 神山 洋子 幸山 浩子 児玉 浩子 後藤 彰子 後藤 敦一 後藤 繁一 小林 正夫 是松 聖悟 小山 典久 犀川 和由	齋藤 元博 齋藤 進一 齋藤 規夫 佐伯 康成 嵯峨 弘子 酒井 望 佐久間 木織 佐藤 佐由里 椎谷 佐由里 四方 あかね 重松 陽介 柴田 徳生 嶋田 美司 清水 俊明 下条 直樹 下野 昌幸 下村 昌寿 白石 裕比呂 白川 嘉継 末延 聡一 杉浦 壽康 杉本 圭相 鈴木 英太郎 鈴木 孝雄 鈴木 敏雄 鈴木 康之 須磨 亮 清野 佳紀 関 秀俊 関 進一郎 瀬島 齊夫 高橋 協 高橋 悟 高橋 孝雄 高橋 勉 高室 基樹 滝沢 琢己 滝田 順子 宅見 徹 竹内 則夫	仲治 博 博久 進一 進一 雄規 久 康成 博 弘子 望 木織 佐藤 佐由里 椎谷 佐由里 四方 あかね 重松 陽介 柴田 徳生 嶋田 美司 清水 俊明 下条 直樹 下野 昌幸 下村 昌寿 白石 裕比呂 白川 嘉継 末延 聡一 杉浦 壽康 杉本 圭相 鈴木 英太郎 鈴木 孝雄 鈴木 敏雄 鈴木 康之 須磨 亮 清野 佳紀 関 秀俊 関 進一郎 瀬島 齊夫 高橋 協 高橋 悟 高橋 孝雄 高橋 勉 高室 基樹 滝沢 琢己 滝田 順子 宅見 徹 竹内 則夫	竹重 博子 竹島 健久 竹谷 哲久 武知 茂子 竹広 剛 田島 雅弥 橘 篤 田中 卓浩 玉井 浩 田村 明子 田村 正徳 長 秀男 塚田 明志 辻 晶子 續 裕幸 堤 正仁 デュブラ 尚 寺井 勝 寺田 春郎 寺本 貴英 照井 君典 遠山 拓郎 戸部 創 鳥巢 浩幸 外木 秀文 富沢 修一 鳥居 ゆか 永井 崇高 永尾 尚子 長澤 克俊 永島 哲郎 中坪 希美 中西 浩一 中野 貴司 中畑 龍俊 中原 智子 中村 公俊 永光 信一 成田 雅美 鳴海 覚志 難波 範行 新津 直樹 西久保 敏也 西澤 嘉四郎	西卷 滋 新田 康郎 根来 民子 橋本 玲子 橋本 廣 長谷川 俊史 長谷川 泰延 長谷川 美香 長谷川 有紀 長谷川 洋 羽田野 爲夫 幡谷 浩史 服部 元史 馬場 常嘉 濱田 洋通 早川 依里子 原 寿郎 張田 豊 波呂久美子 日暮 眞 平尾 敬男 平山 雅浩 廣瀬 伸一 廣津 卓夫 深澤 隆治 福重 淳一郎 藤井 達哉 藤枝 幹也 藤岡 雅司 藤本 伴男 藤村 匠 藤本 巖 藤脇 建久 二村 真秀 船戸 正久 船曳 哲典 舟本 仁一 平家 俊男 別所 文雄 逸見 睦心 保坂 シゲリ 星加 美恵子 保科 弘毅 細井 創 細矢 光亮 堀川 玲子	前川 喜平 前多 治雄 前田 美穂 前野 泰樹 増谷 聡 松井 智子 松石 豊次郎 松尾 宣武 松尾 雅文 松尾 宗明 松下 卓 松平 隆光 松原 知代 丸山 剛志 丸山 博 三浦 健一郎 水谷 修紀 水野 克己 水野 浩 南 志保子 南 享 南沢 正和 三牧 烈 宮入 見 宮尾 雅也 宮城 祐 宮島 晶恵 宮本 秀雄 麦島 巧啓 村上 要一 村田 華子 本村 知華 元山 福祥 森 哲夫 森内 浩幸 森尾 友宏 森口 直彦 森下 秀子 守田 利貞 盛武 浩一 森脇 信一 八木 大地 安木 寛二 安田 幸重 柳川 穰 山内 滋	山内 秀雄 山形 崇倫 山川 毅 山岸 敬幸 山口 清次 山下 薫 山下 裕史 山下 亮子 山城 雄一郎 山田 恭聖 山野 恒一 山本 威久 山本 玉路 山脇 英範 横田 俊平 横田 俊平	横谷 進 横山 茂 横山 義正 横山 章 吉岡 哲史 吉川 康子 吉田 ゆかり 吉田 重 吉原 重自 脇口 研 脇口 宏 脇口 宏之 和田 和子 渡邊 信雄 渡邊 博 渡部 礼二
--	---	--	---	--	---	---	--	---	--

賛助会員(法人)

アサヒグループ食品株式会社
 エーザイ株式会社
 第一三共株式会社
 株式会社ナチュラルサイエンス
 医療法人社団 メディカル・プロ

協賛企業

アサヒグループ食品株式会社
 アステラス製薬株式会社
 株式会社オグラ
 JCRファーマ株式会社
 大日本住友製薬株式会社
 武田薬品工業株式会社
 中外製薬株式会社
 日本マクドナルド株式会社
 ノボルディスクファーマ株式会社
 ファイザー株式会社
 マルホ株式会社

寄付法人

公益社団法人 日本小児科学会
 特定非営利法人
 日本小児医療研究センター

寄付者

加我 牧子/松永 雅道
 村上まゆみ/吉川 武志

賛助会費は、所得税控除または
 税額控除を受けられます。

個人 1口/年 10,000円 法人 1口/年100,000円

ご入会・会員のご所属先変更などのご連絡は、下記で承っております。



公益財団法人 小児医学研究振興財団
 JAPAN FOUNDATION FOR PEDIATRIC RESEARCH

〒110-0015 東京都台東区東上野3-32-2 廣瀬ビル4B

TEL (03) 5818-2601 / FAX (03) 5818-2602

e-mail: shouni-iken@jfpedres.or.jp

http://www.jfpedres.or.jp/

編集後記

「子どもたちの世紀」について

News Letter題字の「子どもたちの世紀」は、日本小児科学会が創立百周年を迎えた当時の厚生大臣であられた小泉純一郎先生に揮毫をお願いしてご快諾頂き、総理大臣ご在任中にお書きいただいたものです。

国産の細胞・再生医療、遺伝子治療製品の開発を推進するため、国は「条件及び期限付き承認」制度を新設し、5つの製品が薬事承認されました。しかし、2つの製品が正式承認にいたらなかったり、承認取り下げとなりました。難病克服に向けて、わが国の若手小児科医のこの分野への参画が強く求められています。

(常務理事 五十嵐 隆)